

日刊建設産業新聞（2018年6月8日付2面掲載）
【ACKグループ 第23回定例会を開催 連携強化しシナジー発揮】

第23回定例会を開催

連携強化しシナジー発揮

ACKグループ

ACKグループは6日、「第23回ACKグループ定例会」を開催した。会場に加え、TV会議、インターネットライブ中継で接続した全国20か所以上の拠点から、多数のグループ各社の役員が出席した。

定例会は、中期経営計画ACKG2013の強化方針である「個の強化」「連携の強化」「3軸市場の競争力強化」をグループ全社が一丸となって推進するための場と位置付け、グループ各社の重点化プロジェクトの取組みについて紹介している。



木村氏の発表の様子

今回、6件のプロジェクトの成果と今後の展開

が発表され、多くの質疑応答が行われた。発表に対して、出席した役員によるインターネット投票を行い、最優秀賞1件、優秀賞2件を表彰した。

最後に、野崎秀則社長が、「ニーズに応えるだけではなく、マーケットをつくっていくことが重要だ。連携の強化によりグループシナジーを発揮し、国内外の多様なフィールドで着実に事業拡大を進めてほしい」と締めくくった。

発表プロジェクトは次の通り。

「インフラ保全・運営管理」中央道小仏トンネルCIMをはじめとする3次元モデル活用事例の紹介
「エイテック・堀江彩千也氏(防災)土砂災害避難行動支援の取り組み」
オリエンタルコンサルタンツ・木村美瑛子氏(最優秀賞)(地域活性化)江戸川区まち歩きアプリ「えどぶら」開発事例の紹介
「リサーチアンドソリューション」
「シヨン・伊藤大倫氏(優秀賞)(事業経営)水道施設管理システム開発による適切な資産管理と事業運営支援の取り組み」
「中央設計技術研究所・佐竹俊昭氏(優秀賞)(民間開発)建築ワンストップ業務のモデル事業構築事例」
「アサノ大成基礎エンジニアリング・稲葉亮治氏(海外新規開拓)海外営業の深化と展開PJ」
「オリエンタルコンサルタンツグローバル」
保久太平洋氏